

<b>機械設計製図 I</b> (Machine Design and Drawing I)	<b>1年・通年・2単位・必修</b> <b>機械工学科・担当 和田 任弘・福岡 寛</b>	
<b>[準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標] (2)</b>	<b>[システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標]</b>	<b>[JABEE基準]</b>
<p><b>[講義の目的]</b></p> <p>図面は、設計者の考えが製作者に正確かつ容易に理解されることが必要である。正確な情報を伝達するためには製図の規格を習得しなければならない。そこで本教科では、製図の基礎を把握し、機械製図に関する規格を理解して製図知識と作図能力を習得する。また、立体(3次元)を平面(2次元)に変換すること、またその逆を行える応力を養う。</p>		
<p><b>[講義の概要]</b></p> <p>図面に用いる線と文字を正しく理解し、正しくきれいに投影図を書けるようになることが重要である。そのためには製図用具の正しい使い方に慣れる。正投影図は、製図の基礎であり、多くの例題を作図練習して正投影図の書き方をしっかりと身につける。そのほか、等角図、キャビネット図、立体の展開図、相貫体のかき方についても学ぶ。そして製図の例題を作図することによって、寸法記入についての基礎を学ぶ。</p>		
<p><b>[履修上の留意点]</b></p> <p>製図は正しく、明瞭に、迅速に作成できることが重要である。そのためには、時間を守ること、作図作業における高い集中力が求められる。</p>		
<p><b>[到達目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械製図の基礎となる正しい線と文字が書け、正確で明瞭な図面を作成すること</li> <li>・ 立体を正投影図で正確に描け、また図面から立体を正しくイメージできること</li> <li>・ 図形の表し方、寸法記入などの図面に記入する基本事項が身についていること</li> </ul> <p>前期末試験：1)機械製図と規格、2)線の種類と用途、3)基礎的な図形のかき方</p> <p>後期中間試験：1)投影法、2)等角図</p> <p>学年末試験：1)図の選び方と配置、2)断面図示、3)図形の表し方、4)寸法記入</p>		
<p><b>[評価方法]</b></p> <p>提出図面(60%)、定期試験(20%)、設計製図作業状況(20%)を総合して評価する。</p>		
<p><b>[教科書]</b></p> <p>教科書名：機械製図、出版社：実教出版、著者：林 洋次監修  教科書名：新編「JIS 機械製図」、出版社：森北出版</p>		
<p><b>[補助教材・参考書]</b></p> <p>プリント資料</p>		
<p><b>[関連科目]</b></p> <p>機械工作実習、機械工学入門など</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第 1 週	機械製図とは	機械製図と規格について説明し、製図用具の使い方について説明する。(製図用具持参、次回から A3 ケント用紙も持参)	
第 2 週	図面に用いる文字	機械製図で用いる文字の種類について説明する。文字を正確に書く練習を行う。	
第 3 週	文字練習	教科書 製図例 1 文字(A3)により文字の練習を行う。(機械製図【製図例 1】)	
第 4 週	図面に用いる線、基本的な図形の描き方 1	機械製図で用いる線の種類について説明する。基本的な作図、直線と円弧、円弧と円弧のつなぎ方	
第 5 週	基本的な図形の描き方 2	線分の等分、角の 2 等分、線分の一端の垂線、円に接する正六角形の作図を行う。	
第 6 週	線の練習	教科書 製図例 2 線(A3)により線の練習を行う。(機械製図【製図例 2】)	
第 7 週	基本的な図形の描き方 3	平面曲線(だ円、歯形曲線)	
第 8 週	平面曲線の作図 1	教科書 製図例 3 曲線(A3)により作図を行う。(機械製図【製図例 3】)	
第 9 週	平面曲線の作図 2	教科書 製図例 3 曲線(A3)により作図を行う。(機械製図【製図例 3】)	
第 10 週	投影法、投影図の書き方	投影法、正投影図の書き方について説明する。	
第 11 週	投影図の書き方 1	投影図の作図を行う。	
第 12 週	投影図の書き方 2	投影図の作図を行う。	
第 13 週	等角図、キャビネット図の描き方	等角図、キャビネット図について説明し、等角図の作図を行う。	
第 14 週	等角図の作図	教科書 製図例 4 (A3)により作図を行う。(機械製図【製図例 4】)	
第 15 週	キャビネット図の作図	教科書 製図例 4 (A3)により作図を行う。(機械製図【製図例 4】)	
前期期末試験			
第 16 週	立体の展開図、相貫体とその展開図	立体の展開図と相貫体について説明し、展開図の作図を行う。	
第 17 週	展開図の作図	展開図の作図を行う。	
第 18 週	図形の表し方	図の選び方と配置、断面図示について説明する。	
第 19 週	寸法記入法	基本的な寸法記入法について説明する。	
第 20 週	支持台の作図 1	教科書 製図例 7 支持台の製図を行う。	
第 21 週	支持台の作図 2	教科書 製図例 7 支持台の製図を行う。	
第 22 週	軸受ふたの作図 1	教科書 製図例 8 軸受ふたの製図を行う。	
第 23 週	軸受ふたの作図 2	教科書 製図例 8 軸受ふたの製図を行う。	
第 24 週	軸受ふたの作図 3	教科書 製図例 8 軸受ふたの製図を行う。	
第 25 週	軸受の作図 1	教科書 製図例 9 軸受の製図を行う。	
第 26 週	軸受の作図 2	教科書 製図例 9 軸受の製図を行う。	
第 27 週	軸受の作図 3	教科書 製図例 9 軸受の製図を行う。	
第 28 週	超硬センタの作図	新編「JIS 機械製図」p59 40007 超硬センタの製図を行う。	
第 29 週	はさみゲージの作図	新編「JIS 機械製図」p60 40008 はさみゲージの製図を行う。	
第 30 週	アイボルトの作図	新編「JIS 機械製図」p61 40011 アイボルトの製図を行う。	
学年末試験			

\* 4 : 完全に理解した、 3 : ほぼ理解した、 2 : やや理解できた、 1 : ほとんど理解できなかった、 0 : まったく理解できなかった。  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)